

地域包括ケア私捨夢の構築

平成24年度～平成27年

～在宅療養体制の充実に向けて～

想いを言葉に、

言葉を形に、

形を技能に



システムづくりの極意・・・私捨て夢と表記する

システムづくりには、各自の私的な立場・思惑を捨てて、全体の立場から共通の夢（目標）を描き、各自に期待される役割を適切に位置付けていくことが大切である。

北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科 システム論より

白山ののいち医師会
地域医療担当理事

松葉 明

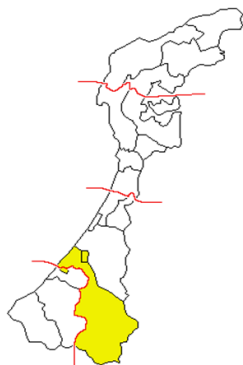
白山市
高齢者支援センター

池田紀子

公立つるぎ病院

在宅療養支援部伊藤 祐司

石川県



在宅医療連携グループ

平成23年度	4
平成24年度	9
平成25年度	12
平成26年度	13

平成25年度 在宅医療連携グループ活動報告【12グループ】

1 こまつ在宅医療研究会

代表：藤木保夫氏
事業内容：研修会の開催、医療機関や関連職種等の連携・情報交換研究会の開催



【発表者】
藤木保夫氏

2 金沢元町在宅医療を考える会

代表：近藤邦夫氏
事業内容：研修会の開催、アンケート調査、地域住民等への広報、医療機関や関連職種等の連携・情報交換



【発表者】
森山雅美氏

3 りくつなケアネット金澤

代表：阿庭賢一氏
事業内容：研修会の開催、アンケート調査、地域住民等への広報、医療機関や関連職種等の連携・情報交換



【発表者】
大谷千晴氏

4 河北認知症を地域で考える会

代表：沖野登一氏
事業内容：研修会の開催、医療機関や関連職種等の連携



【発表者】
元女貴久乃氏

9 メモリーケアネットワーク能美

代表：水毛生直則氏
事業内容：啓発のための「市民公開講座」の開催、事例検討会の実施、中学校の「総合学習」の時間帯を有効に活用した学習会、町内会や老人会などで少人数の講習会の開催



【発表者】
松田健志氏

10 加賀市在宅医療連携推進協議会

代表：橋秀樹氏
事業内容：アンケート調査の実施、地域住民等への広報、医療機関や関連職種等への連携・情報交換



【発表者】
橋秀樹氏

5 あじさい会

代表：安田紀久雄氏
事業内容：研修会の開催



【発表者】
松栄弘美氏

6 いしかわ921在宅ネットワーク

代表：西村元一氏
事業内容：研修会、市民公開講座、研究会、会議、顧客中連携協議会とのコラボレーション、視察



【発表者】
橋本昌子氏

7 白山野々市在宅連携委員会

代表：松葉明氏
事業内容：研修会の開催、アンケート調査の実施、地域住民等への広報、医療機関、関連職種等の連携・情報交換



【発表者】
松葉明氏

8 白山市在宅医療協議会

代表：真田陽氏
事業内容：研修会の開催、アンケート調査の実施、地域住民等への広報、医療機関、関連職種等の連携・情報交換



【発表者】
伊藤祐司氏

11 はくい在宅研究会

代表：松沼恭一氏
事業内容：研修会の開催、医療機関や関連職種等の連携・情報交換、研修会の開催



【発表者】
松沼恭一氏

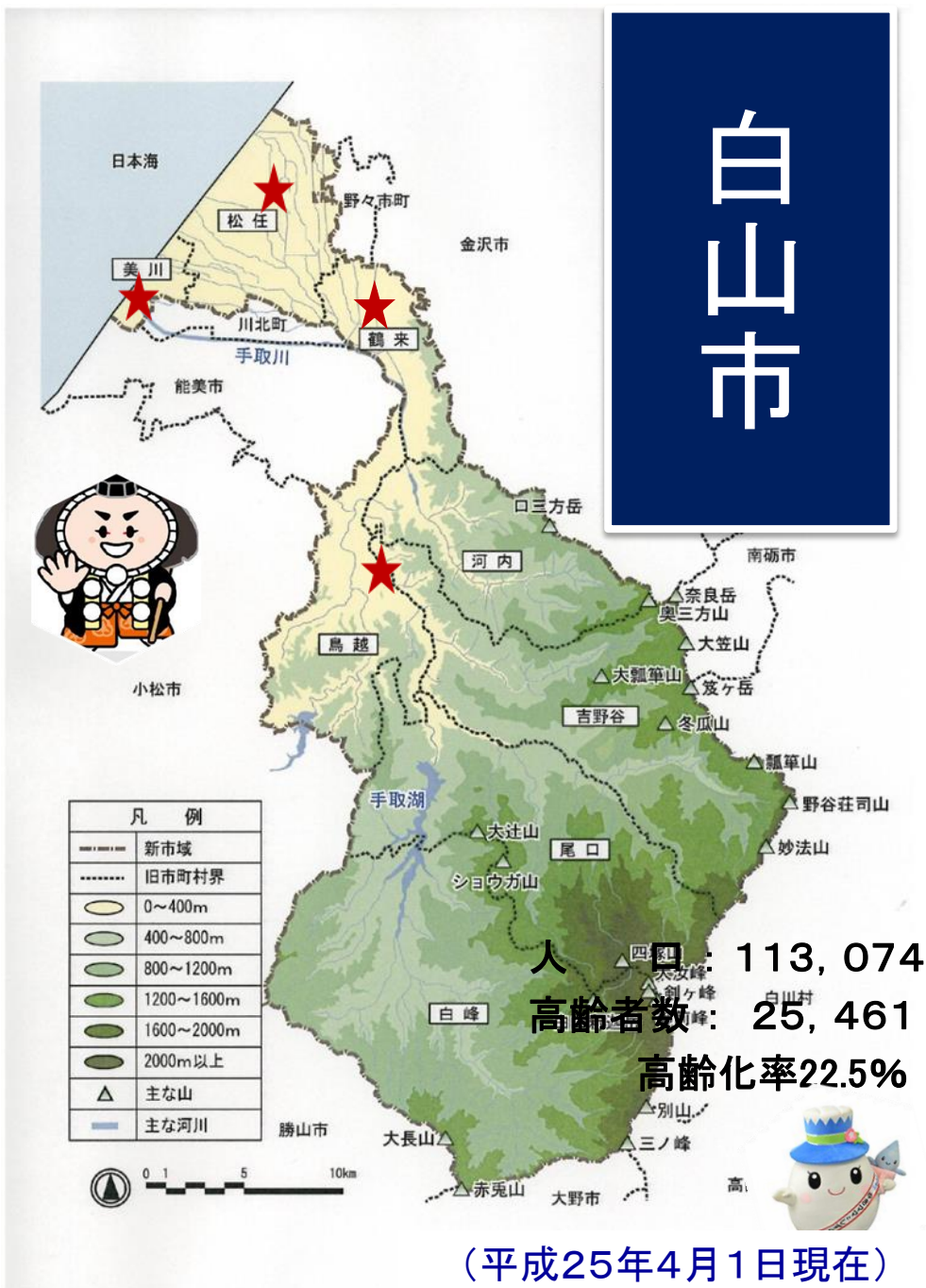
12 ななお業蘭の会

代表：円山寛人氏
事業内容：研修会の開催、アンケート調査の実施、地域住民等への広報、医療機関、関連職種等の連携・情報交換



【発表者】
円山寛人氏

白山市



在宅医療連携拠点事業

平成24年度 在宅医療拠点事業 公立つるぎ病院

平成25年12月



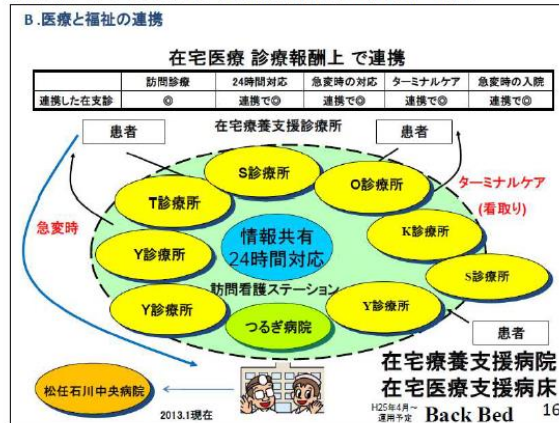
(独)国立長寿医療研究センター

在宅医療・介護連携のための市町村ハンドブック

目次

1 在宅医療・介護連携の必要性について	1
(1) 地域包括ケアシステムの構築がますます重要に	1
(2) 在宅医療は地域包括ケアシステムの不可欠の要素	1
(3) まずは、自らの市町村で課題の確認を	2
2 在宅医療・介護連携の進め方	3
(1) はじめに — それぞれの市町村の状況に応じた施策の展開を	3
(2) 市町村での事業の取り組みのフローチャート	4
(3) 市町村における担当課の決定	6
(4) 郡市区医師会との協働	9
(5) 地域包括支援センターの位置づけ	10
3 具体的取り組み	11
A. 会議の開催（会議への医療関係者の参加の仲介を含む）	12
B. 地域の医療・福祉資源の把握及び活用	17
C. 研修の実施	20
D. 24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築	24
E. 地域包括支援センター・ケアマネジャーを対象にした支援の実施	29
F. 効率的な情報共有のための取り組み （地域連携パスの作成の取り組み、 地域の在宅医療・介護関係者の連絡様式や方法の統一など）	31
G. 地域住民への普及・啓発	33
H. 年間事業計画	35
4 今後に向けて	39
(1) 市町村事業のさらなる向上のために	39
(2) 制度改正の動向	41
資料1) 各市町村の取り組みに関する図表等の出典一覧	42
資料2) 地域包括ケアシステム構築への取り組みにおいて参考にされたい情報紹介	45

例)石川県 公立つるぎ病院における後方支援病床設置の取り組み (図26)

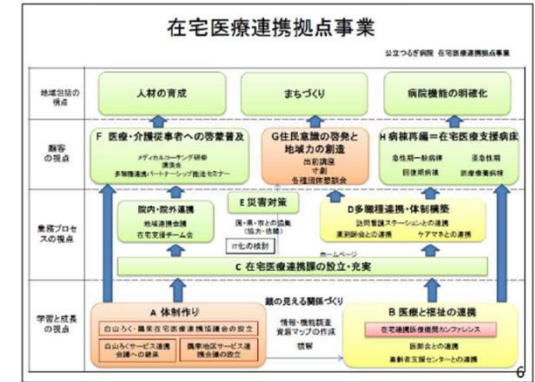


※ 公立つるぎ病院では地域の在宅医療ネットワークの患者の後方支援病院として、専用の病床を確保し、24時間365日支援体制をサポートしている。
円滑な入院受け入れのためのルールやマニュアルの整備、情報提供様式の作成も行った。

平成24年度 在宅医療連携拠点事業 事業計画・報告書

項目	内容	進捗状況	備考
1. 地域連携パスの作成	地域連携パスの作成を進め、12月までに完成させた。	完了	
2. 地域包括支援センターとの連携	地域包括支援センターとの連携を強化し、在宅医療の提供体制を整えた。	完了	
3. 地域住民への普及・啓発	地域住民への普及・啓発活動を実施し、在宅医療の認知度を向上させた。	完了	
4. 年間事業計画	年間事業計画を策定し、実施した。	完了	

例)石川県 公立つるぎ病院における事業計画 (図40、図41)

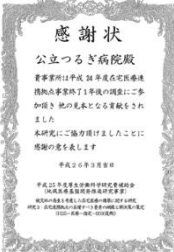


例)石川県 公立つるぎ病院における事業計画 (図44)

平成24年度 在宅医療連携拠点事業 事業計画・報告書

項目	内容	進捗状況	備考
1. 地域連携パスの作成	地域連携パスの作成を進め、12月までに完成させた。	完了	
2. 地域包括支援センターとの連携	地域包括支援センターとの連携を強化し、在宅医療の提供体制を整えた。	完了	
3. 地域住民への普及・啓発	地域住民への普及・啓発活動を実施し、在宅医療の認知度を向上させた。	完了	
4. 年間事業計画	年間事業計画を策定し、実施した。	完了	

※ 公立つるぎ病院では、地域包括ケアシステム構築に向け、拠点として様々な視点から取り組む課題を明確にし、具体的なアクションプランを立てて実行した。



地域包括ケア私捨夢の構築を目指して BSC～DMM手法へ



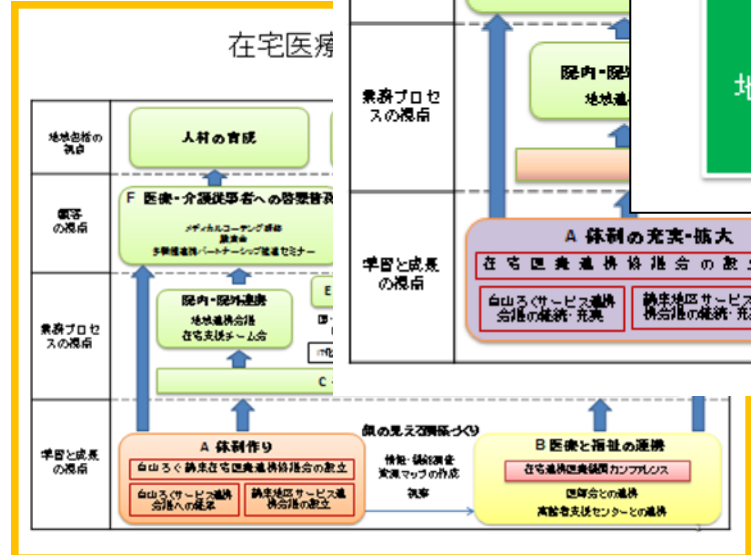
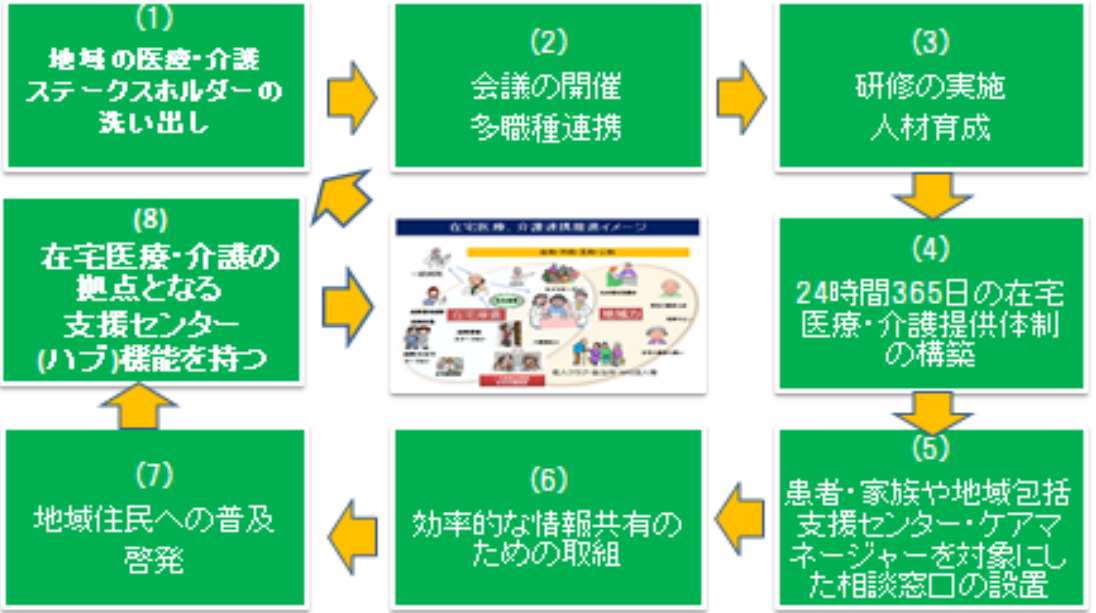
平成26年度

平成26年度 在宅医療・介護連携推進事業
DMM (創造エンジン)

平成25年度

平成24年度

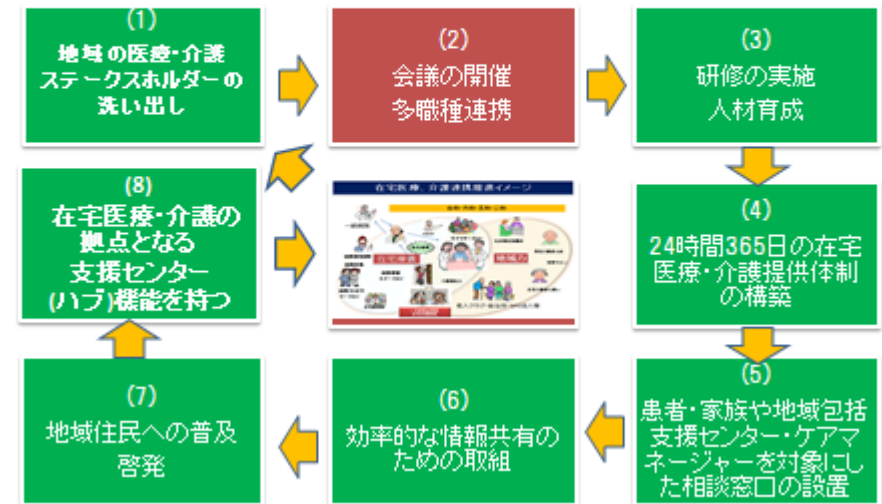
地域連携型 医療・介護



見える化・可視化
調整機能

項目	内容	担当者	進捗状況
1	地域包括型医療・介護推進計画の策定	〇〇	完了
2	在宅医療・介護連携推進協議会の設立	〇〇	完了
3	在宅医療・介護連携推進協議会の定例会議の実施	〇〇	完了
4	在宅医療・介護連携推進協議会の分科会の実施	〇〇	完了
5	在宅医療・介護連携推進協議会の研修の実施	〇〇	完了
6	在宅医療・介護連携推進協議会の啓発活動の実施	〇〇	完了
7	在宅医療・介護連携推進協議会の情報共有の実施	〇〇	完了
8	在宅医療・介護連携推進協議会の評価の実施	〇〇	完了

平成26年度 在宅医療・介護連携推進事業
DMM



白山市在宅医療連携協議会
協議会・サービス連携会議構成団体
運営委員会・運営準備委員会

(2) 会議の開催・多職種連携 組織・体制づくり、ネットワーク構築

(2)-1 白山市在宅医療連携協議会

平成24年度 体制づくり

多職種が一堂に会する場の設定

拠点事業 事務局
公立つるぎ病院
看護師(介護支援専門員) 2人
MSW 2人
事務職 2人

白山ろく鶴来在宅医療連携協議会	
構成員	白山ろく地区医師会 白山ろく・鶴来地区の診療所 医師 白山ろく地区(白山市)在宅医療推進センター 行政(白山市保健衛生課) 白山ろく地区薬剤師会 白山ろく地区歯科医師会 白山ろく地区福祉士会 白山ろく地区介護士会 上記以外の関係者(2人)
アドバイザー	白山ろく地区医師会 会長 白山ろく地区薬剤師会 会長 白山ろく地区福祉士会 会長 白山ろく地区介護士会 会長

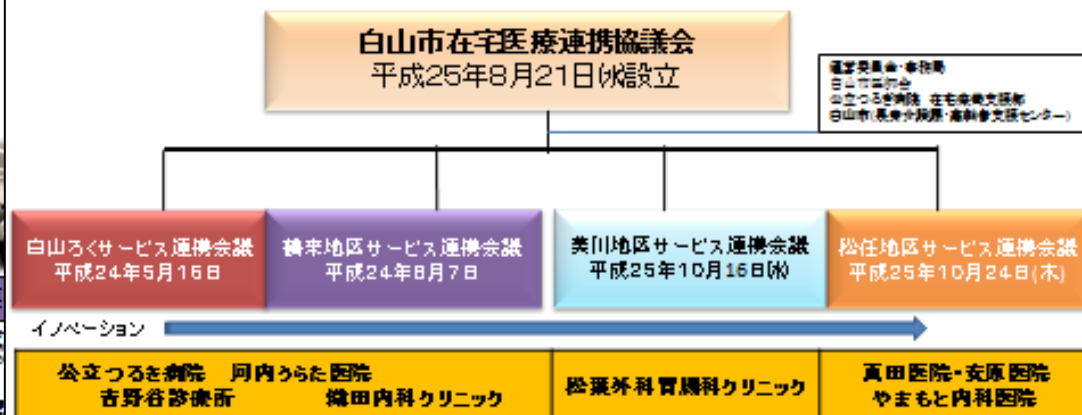


白山ろくサービス連携会議	
構成員	白山ろく内に医療所がある医師、看護師、薬剤師、福祉士、介護士、行政(白山市)関係者、地域福祉推進センター関係者
【職員】	医師、看護師、ケアマネジャー、社会福祉士、介護士、行政(白山市)関係者、地域福祉推進センター関係者、薬剤師、福祉士、介護士、行政(白山市)関係者、地域福祉推進センター関係者

鶴来地区サービス連携会議	
構成員	鶴来地区内に医療所がある医師、看護師、薬剤師、福祉士、介護士、行政(白山市)関係者、地域福祉推進センター関係者
【職員】	医師、看護師、ケアマネジャー、社会福祉士、介護士、行政(白山市)関係者、地域福祉推進センター関係者、薬剤師、福祉士、介護士、行政(白山市)関係者、地域福祉推進センター関係者

(2)-1 白山市在宅医療連携協議会

在宅医療推進事業(平成25年度)
白山市において医療・介護・福祉、行政が一堂に
会する「場」の設定



病院診療圏



白山市全域



(2) 協議会・サービス連携会議

構成団体 平成27年2月現在

石川中央保健
福祉センター

白山市長寿介護課
高齢者支援センター

ケアマネ協会

介護福祉施設

歯科医師会

薬剤師会

白山石川医療企業団
公立つるぎ病院

白山市医師会

石川県ケア財団
訪問看護ステーション



運営委員会・事務局
白山市医師会
公立つるぎ病院 在宅療養支援部
白山市(長寿介護課・高齢者支援センター)

白山ろくサービス連携会議
平成24年5月16日

鶴来地区サービス連携会議
平成24年8月7日

美川地区サービス連携会議
平成25年10月16日(水)

松任地区サービス連携会議
平成25年10月24日(木)

イノベーション

白山市在宅医療連携協議会

松任地区サービス連携

美川地区サービス連携会議

白山ろくサービス連携会議

鶴来地区サービス連携会議

(2) 協議会・運営委員会・事務局

運営委員会



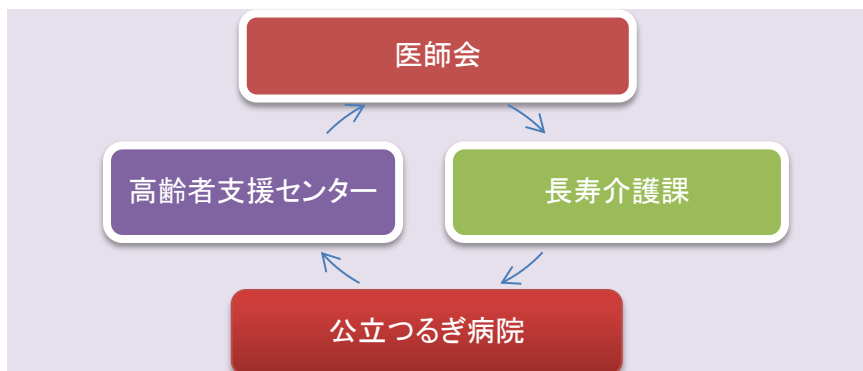
真田先生・松葉先生・安原先生・杉本先生

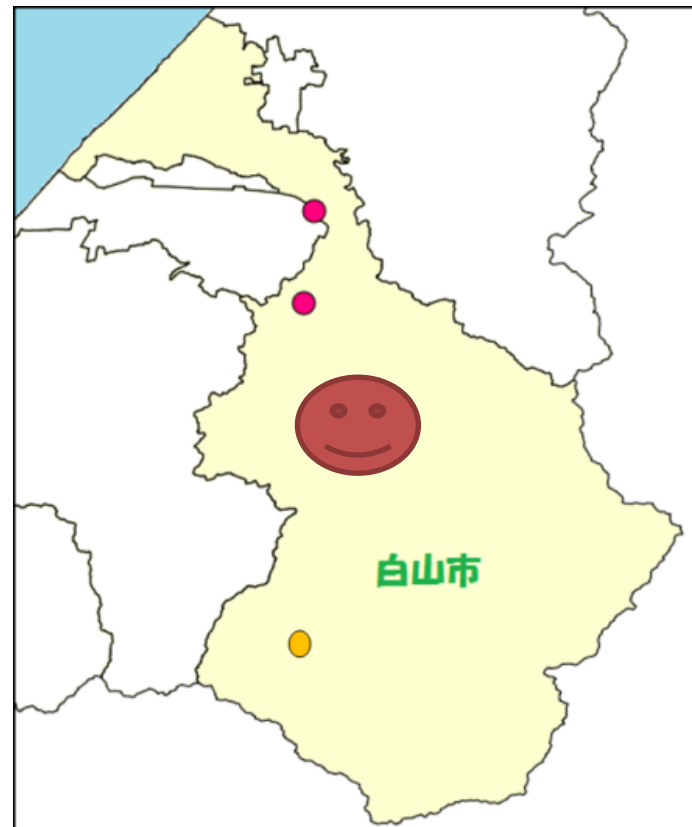
協議会



医師会事務局長
長寿介護課長
高齢者支援センター所長
公立つるぎ病院
西田良治
北村 潔
池田紀子

運営準備委員会





平成24年5月16日 名称変更
人材育成

(2)-2 白山ろくサービス連携会議

(2)-2 白山ろく サービス連携会議

平成25年度活動実績一覧



絆 → 結 → 直会



		出席者	内容
第12回	<日時> 平成25年5月15日(水) 14:00~15:35 <場所> 大門園 会議室	21人	(1) 白山市長寿介護課より (2) 事例検討 / 白山ろく訪問看護ステーション (3) グループワーク *テーマ:「担当者会議の一例に基づいた多職種連携カンファレンスの様子について(DVD『ほほえみをたやさない生活を支えるために ~多職種協働と連携が拓く在宅医療・ケアの未来~』、制作:国立長寿医療研究センター)」 (4) その他
第13回	<日時> 平成25年7月17日(水) 14:00~15:30 <場所> 大門園 会議室	20人	(1) プレゼンテーション 「白峰地区民生委員児童委員の役割について」 / 白峰地区民生委員児童委員協議会 会長 永吉 晃氏 (2) 事例検討 / 美杉の郷ケアプランセンター (3) その他
第14回	<日時> 平成25年9月18日(水) 14:00~15:30 <場所> 大門園 会議室	18人	(1) プレゼンテーション 「成年後見制度について」 / 権利擁護センターぱあとなあ石川 中村 浩幸氏 (2) 事例検討 / 白峰診療所 (3) その他
第15回	<日時> 平成25年11月20日(水) 14:00~15:10 <場所> 大門園 会議室	20人	(1) プレゼンテーション 「美杉の郷デイサービスセンターの紹介」 / 美杉の郷デイサービスセンター 高田 登氏 (2) 事例検討 / 白山市高齢者支援センター (3) その他
第16回	<日時> 平成26年1月15日(水) 14:00~15:00 <場所> 大門園 会議室	15人	(1) プレゼンテーション 「山の麓の診療所 ~地域の特性に合わせた患者サービスに取り組んで~ 医療事務の立場から」 / 吉野谷診療所 林 亜紀氏 (2) 事例検討 / 吉野谷診療所 (3) その他
第17回	<日時> 平成26年3月19日(水) 14:00~15:30 <場所> 大門園 会議室	14人	(1) プレゼンテーション 「白山ろく訪問看護ステーションにおける在宅看取り」 / 白山ろく訪問看護ステーション 清水 えり子氏 (2) 事例検討 / かわちコメヤ薬局 (3) その他

第22回 白山ろく サービス連携会議

日時 平成27年1月21日
場所 吉野谷公民館

テーマ
「白山ろく・鶴来地区の防災対策」
参加者 29名



平成27年1月28日
公立つるぎ病院
在宅医療連携室 磯貝

第22回 白山ろくサービス連携会議 会議録

開催日時：平成27年1月21日（水） 14:00~15:30

開催場所：吉野谷公民館 2階会議室

参加者：公立つるぎ病院 訪問リハビリ

(敬称略) 白峰診療所

新村病院

大門園居宅サービスセンター

白山市高齢者支援センター

白山ろく訪問看護ステーション

美杉の郷ケアプランセンター

吉野谷診療所

公立つるぎ病院

鶴来地区ケアマネ会より…

長田

高松、竹腰

高瀬、糸尾

◎森下、中田、松島

相沢、今川

丹保、清水え、

宮谷

橋本、山下、佐々木（以上、五十音順）

伊藤、村山、★磯貝

香林苑(上野、久保田)、紫苑(山谷)、公立つるぎ病院(針道)

白山市社協ケアプランセンター(大杉)

白山鶴来訪問看護ステーション(澤)

○白山市 長寿介護課(藤田)、生活支援課(栗津)、防災安全課(早川、吉川)

出席者：29名 (○…講師、◎…司会、★…書記)

協議内容

1. プレゼンテーション

「白山ろく・鶴来地区の災害対策について」

／ 白山市長寿介護課 藤田氏・生活支援課 栗津氏

防災安全課 早川氏、吉川氏

(防災安全課 吉川氏より)

東日本大震災以来、自助・共助・公助という言葉が広く使われるようになった。

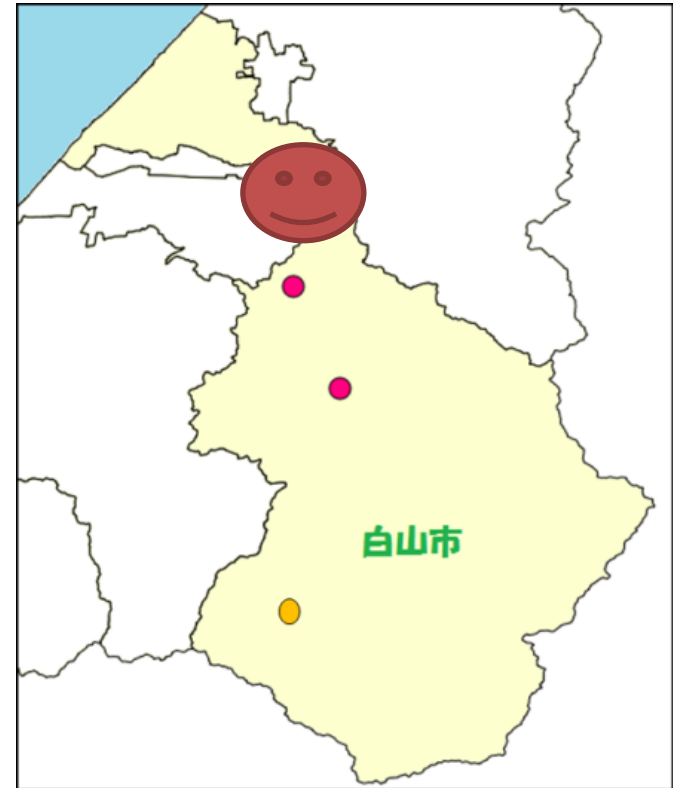
ケアマネジャー＋訪問看護師
(白山ろく・鶴来地区合同)



防災対策チーム(仮称)
3月設立予定



平成24年8月7日設立
年間テーマを設定し活動



(2)-3 鶴来地区サービス連携会議

鶴来サービス連携会議

平成26年11月13日 第13回



認知症疾患医療センター
石川県立高松病院長
北村 立先生

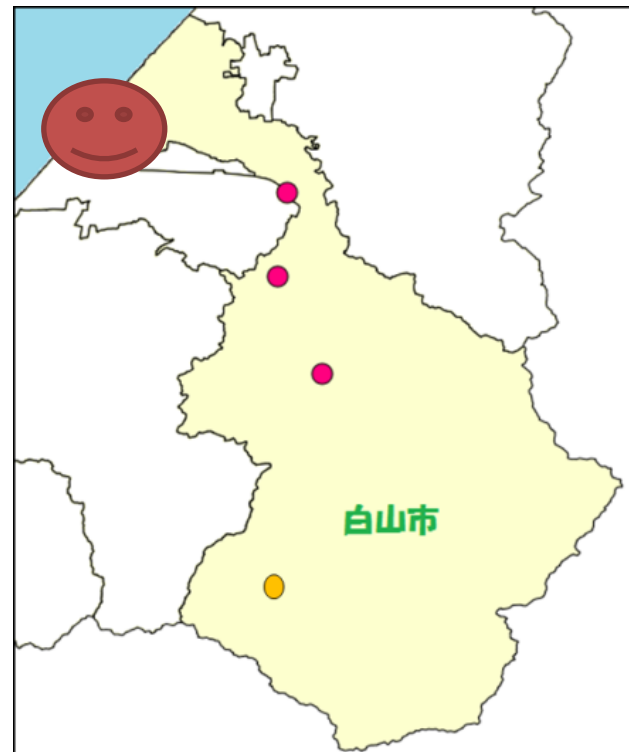
「認知症の方を地域で支えるために」
必要な知識と各職種の役割



事例検討(90分)

次回予定 高齢者の地域支援に関する事例報告会

平成25年10月16日設立
主治医、副主治医制からスタート



(2)-4 美川地区サービス連携会議

(2)-4 美川地区サービス連携会議

第4回 平成26年12月24日

場所 美川文化会館

介護食試食体験

参加者 27名(医師3)

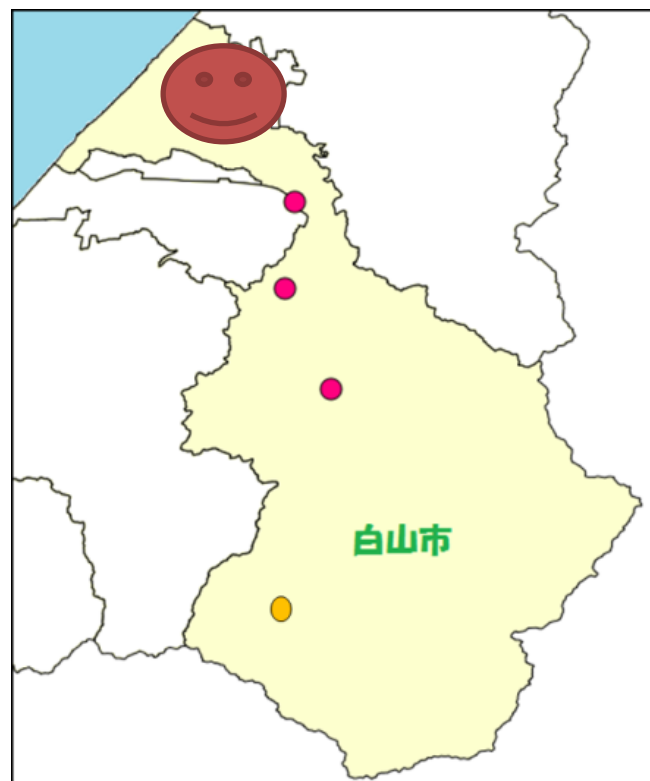


松葉外科クリニック
松葉明院長



平成26年8月22日(金)

平成25年10月24日設立
疾患別テーマ



(2)-5 松任地区サービス連携会議

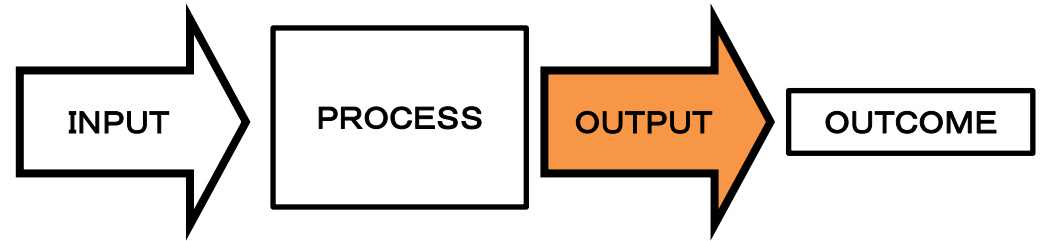
(2)-5 松任地区サービス連携会議



白山市医師会長 真田 陽先生



回・日時	参加者	内容
第一回 平成25年10月 24日(木) 19時～20時	17名 医師 8名 会場 健康センター 松任	① 在宅医療連携協議会の発足、経緯、目的、方向性 ②松任地区での取り組み
第二回 平成26年3月 4日(火) 19時30分～20時30分	48名 医師10名含 会場 健康センター 松任	①講演 「在宅療養者にみられる皮膚疾患について」 講師 たけお皮膚科クリニック 兵尾基一院長 ②グループワーク
第三回 平成26年6月 16日(月) 19時30分～21時	36名 医師 6名	①講演 「糖尿病」 講師 松任石川中央病院 赤堀弘先生
第四回 平成26年12月 1日	35名 医師5名	①講演 嚥下評価～スクリーニングとVF・VE ②介護食試食体験



白山市の在宅を考える会
加賀脳卒中コラボ研修会
誤嚥性肺炎・嚥下障害について
資源マップ(作成中)

協議会アウトプット

(2)-1 白山市在宅医療連携協議会

白山市の在宅医療 連携を考える会

(2)-1 白山市在宅医療連携協議

第1回 白山市の在宅医療連携を考える会

平成26年12月14日(土) 午後4時～6時 白山市市民交流センター



座長
公立つるぎ病院長 杉本尚樹



「白山市在宅医療連携協議会
白山市福祉福祉課長 新井 介 氏、村井 忠 郎 氏
「第6次医療計画」に基づく
石川県福祉福祉課地域医療推進室 次長 木村 慎
「在宅医療を含めた地域包括
に向けた各地の活動
国立長寿医療研究センター在宅連携医療課 後



(2)-1 白山市在宅医療連携協議会

1. 職種	
医師	19
薬剤師	2
看護師	21
その他医療職	4
MSW	5
ケアマネジャー	8
介護福祉士	1
事務職	8
行政	28
その他	8
合計	104



石川県福祉福祉課介護社会課
三浦 誠 氏



独立行政法人
国立長寿医療研究センター
名誉総長 大島伸一 先生

大島先生のご講演から日本の医療の現状を知り、私たちが危機感を持って仕事をしていかなければと感じた。今後も医療、介護の連携に関する研修等、積極的に参加していきたい。

大島先生の最後のお話が印象的でした。最期は「独り」、「豊かさ」の本質、QOL、QODの本質覚悟を持ちつつも、人として尊厳ある生活が保てるような地域を作る。

「治す医療から、
治し支える医療へ」

(2)-1 白山市在宅医療連携協議会

加賀脳卒中連携パス

加賀脳卒中連携パスのフローチャートと詳細な連携パスの表。表には患者の経過、検査結果、治療内容などが記載されている。

(3) 第2回 コラボ研修会 白山市在宅医療連携協議会・加賀脳卒中地域連携パス協議会

平成26年10月2日 17:00~21:00
白山市鶴来総合文化会館クレイン
後援 白山ののいち医師会
106名参加



(3) コラボ研修会

白山市在宅医療連携協議会・加賀脳卒中地域連携パス協議会



第一回平成26年3月13日
場所 白山市鶴来総合文化
会館クレイン 研修室
参加者 103名



第一回内容

- ① 「加賀パスを知ろう」
- ② 「加賀パスを知り、読み解こう」



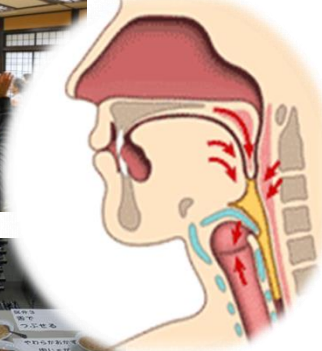
共通の目的があり
多職種・地域連携の関係を強める効果あり

嚥下をテーマに

講義あり・白山体操あり・介護食の試食体験



高齢者
肺炎の多くが誤嚥性肺炎と言って、飲み込みに深く関係



松任地区
歯科医師

近藤クリニック 近藤政子先生

白山ろく地区サービス連携会議
言語聴覚士

公立つるぎ病院 高畠智子

松任地区サービス連携会議
耳鼻咽喉科医師

公立松任石川中央病院 塚谷才明先生

美川地区サービス連携会議
管理栄養士

(1) 資源マップの作成・活用

医療機関情報

医療機関名	河内うらた医院
院長	多田 研三
住所	石川県白山市河内町きりの里62番地
電話番号	076-273-3777
FAX	076-273-3999
E-mail	
ホームページ	http://www.hospjy.jp/kawachi.html



■アクセス
バス…北陸鉄道(加賀白山線)「きりの里」から徒歩1分

診療科目	内科、外科、リハビリテーション科							
外来受付時間	月	火	水	木	金	土	日	■休診日・その他
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	×	土曜日午後、日曜日、祝日、年末年始(12/30~1/3)、お盆(8/15~8/16)
午後	14:00~18:00	○	○	○	○	×	×	

【在宅医療への取り組み】 ○:対応している(有) ×:対応していない(無)

在宅療養支援診療所(病院)の届出	○	訪問看護	○
在宅訪問診療	○	訪問リハビリテーション	○
往診	○	薬剤師等の居宅療養管理指導	×

小外科的処置	×	胃瘻・経管栄養管理	○
褥瘡処置	○	中心静脈輸液栄養・ポート管理	○
膀胱カテーテル管理	○	ストーマ管理	○
在宅酸素療法	○	癌末期医療	○
在宅人工呼吸器法	○	自己腹膜透析管理	×
気管切開・気管カニューレ装着者管理	○		
その他特記事項			

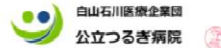
【医師との連絡・連携方法】 ○:可 △:状況により可能 ×:不可

照会方法	可否	他職種の方への要望
直接面談	○	面談は事前連絡をお願いいたします。
文章連絡	○	・サービス担当者会議については、時間帯を相談し、調整にて出席可能です。
電話連絡	○	
FAX連絡	○	
サービス担当者会議出席(院内)	○	
サービス担当者会議出席(患者宅)	○	

【在宅担当窓口(Dr代理対応)】

担当者	(看護師)中山 琴美
-----	------------

白山ろく・鶴来地区 医療・福祉関係機関 資源マップ 平成24年度在宅 医療連携拠点事業



分析



支援



評価

関係事業所情報

介護老人福祉施設
特別養護老人ホーム 美杉の郷
社会福祉法人 はくさん会
石川県白山市桑島4号87番地5
076-259-2117
076-259-2160
misuginosato@hosphy.jp
http://www.hosphy.jp
永下 武二
池田 商洋



■アクセス
バス…北鉄白峰公園線 桑島バス停 徒歩2分
車…国道157号線勝山方面へ

池田病院	生活保護法による指定	無	
員	70人	居室状況	ユニット型
生活介護の実施	有	短期入所生活介護利用者数	10人
サービス	生活介護、通所介護、予防短期入所生活介護、予防通所介護、居宅介護支援事業		

病名・病状・処置	可否	備考	病名・病状・処置	可否	備考
胃瘻・腸瘻	○	胃瘻のみ可	ストーマ	○	
経鼻胃管	×		人工透析	×	
気管切開(カニューレ)	×		導尿	△	相談に応じます
人工呼吸器	×		吸痰	△	回数によります
在宅酸素	○		褥瘡	○	
末梢点滴	×		疥癬	×	
中心静脈栄養	×		MRSA(保菌)	△	相談に応じます
埋め込み型中心静脈栄養	×		結核(既往)	△	相談に応じます
インスリン注射	×		ペインコントロール(麻薬管理)	×	
膀胱留置カテーテル	○		癌(ターミナル)	×	
腎瘻カテーテル	△	相談に応じます	看取り	×	
その他特記事項					

【入居または利用相談窓口】

担当者	古谷 聡子
電話番号	076-259-2117
FAX	076-259-2160

<現状と課題>

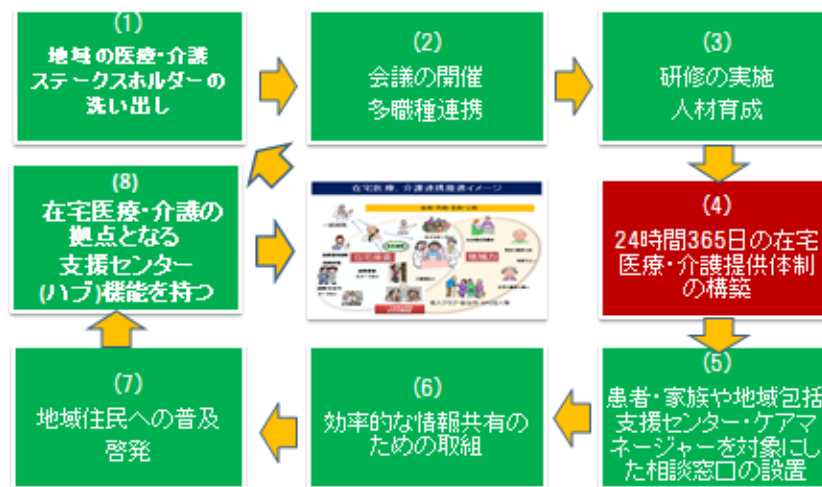
- 医療と介護の多職種連携を主導する機能が弱い
- 24時間、365日対応してもらえる安心の仕組みが十分ではない
- 医療機関における急性期、回復期、慢性期、在宅医療といった機能分担と連携が進んでいない

石川県健康福祉部資料より

診療報酬改定対応

在宅療養支援診療所・在宅療養支援病院 届出

平成26年度 在宅医療・介護連携推進事業 DMM



(4) 在宅連携医療機関カンファレンス

地域包括ケアシステムの構築に向けた「病院」の役割

(4) 在宅連携医療機関カンファレンス

在宅療養支援診療所・支援病院

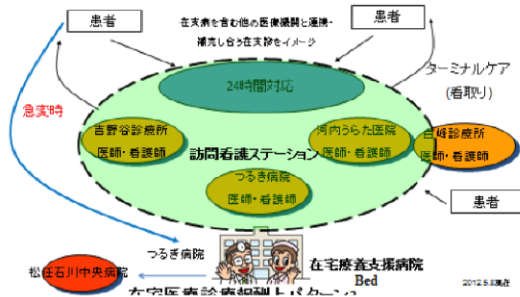
平成24年

B 医療と福祉の連携

〒464-0292 愛知県稲沢市山崎町1-1-1 松任石川中央病院

在宅連携医療機関カンファレンス

訪問診療	24時間対応	急変時の対応	ターミナルケア	急変時の対応
連携した在宅診療	◎	連携で◎	連携で◎	連携で◎

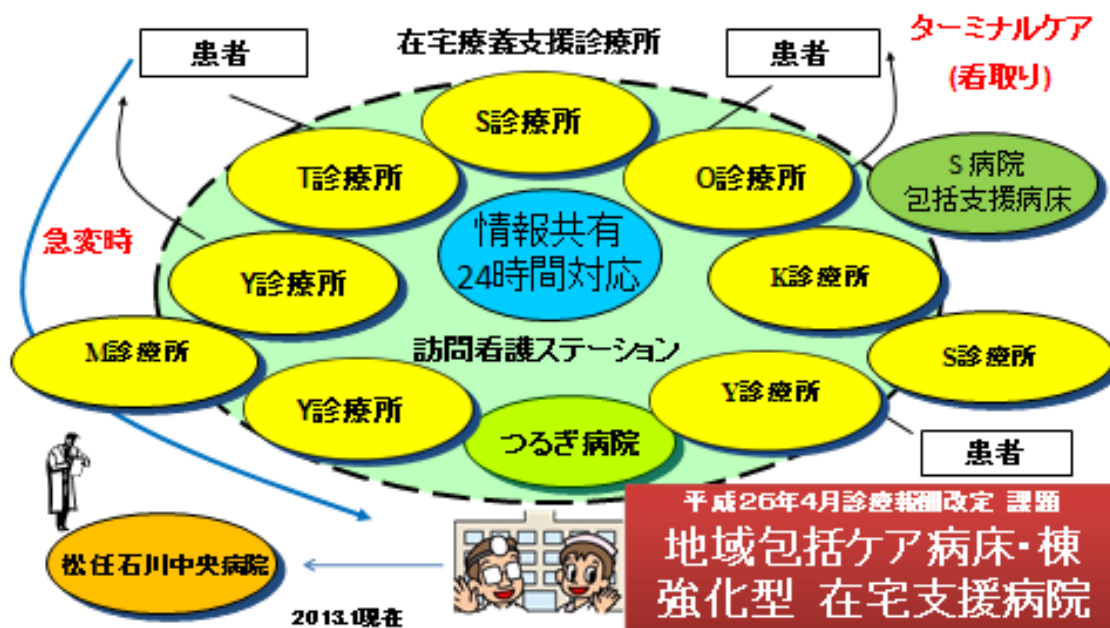


平成26年

病院・診療所の連携

在宅連携医療機関カンファレンス

在宅療養支援診療所・支援病院



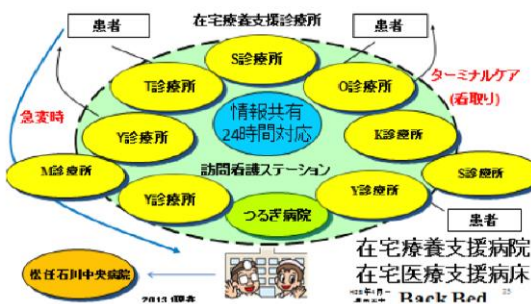
平成25年

B 医療と福祉の連携

平成24年診療報酬改定…機能強化型

在宅連携医療機関カンファレンス

平成25年11月現在

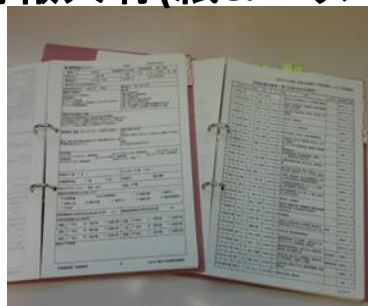


平成26年4月診療報酬改定 課題
地域包括ケア病床・棟
強化型 在宅支援病院

(4) 在宅連携医療機関 カンファレンス



在宅患者の情報共有(紙&IDリンク)



+ ほつやライオン

透析を望まなかった慢性腎不全(末期)患者、在宅看とりの試み

症例: (91歳 女性)

既往歴: 50歳頃、高血圧症の治療開始
家族構成: 息子夫婦と同居。

事例検討

診断 (治療中および臨床の問題点):

- #慢性腎不全(腎硬化症or虚血性腎症、尿毒症状態)
- #高血圧症
- #貧血(慢性腎症+ α)
- #骨粗鬆症

経過&現病歴:

平成15年より、高血圧症、慢性腎不全、貧血症でS病院通院中であつたが腎機能は徐々に悪化してきていた。

本年7月、本人の希望で当院紹介となり外来通院となった。

(BUN 53.3mg/dl, Cr 6.81mg/dl)

8月3日、自宅で転倒し臀部を打撲し歩行困難、食欲も低下していた。8月19日、熱中症の診断でS病院に入院となった。それに伴い腎機能も増悪していた。保存的治療にも改善が見られず、透析導入を勧められた。本人の透析を望まない意志が強固で、9月25日、退院となり、訪問診療、訪問看護を開始した。

(BUN 105.0mg/dl, Cr 11.21mg/dl)

11月1日、息子が疲弊してきたため家族面談を実施。DNRとの了解の上、できるだけショートステイを利用することとなった。

12月5日、ショートステイを利用中、呼吸困難が著しく往診。全身浮腫による心不全と考えられた。翌日、在宅酸素を導入して自宅に戻り連日の訪問診療、訪問看護を実施、ALB-訪問も導入した。食事、水分摂取量の低下に伴い浮腫が軽快し、呼吸困難感も改善してきていた。

12月17日午後より努力呼吸様となり、夜間に永眠。

処方: 7αDジソンOD錠5mg、1錠、1日1回 朝食後

ラシックス20mg錠、1T、1日1回 朝食後

ミレラ100 μ g注、4週ごとに実施

経過中の問題点&課題:

- ◎末期腎不全患者の在宅看取りの経験がない。
- ◎9月退院以降、当院では血液検査を実施していない。
- ◎尿毒症による症状が耐えられなくなった場合の対処。
- ◎家族の疲弊(心身両面で)が極限状態になった場合の対処。

別紙添付: 退院時要約、血液生化学検査成績、

(4) 在宅連携医療機関カンファレンス



第29回 在宅医療機関カンファレンス

日時 平成26年8月27日(水)
午後7時～8時

症例 2例

参加職種

医師、
看護師、糖尿病認定看護師、訪問看護師
ケアマネ、作業療法士、ソーシャルワーカー

参加機関 11+随時依頼	
1	織田内科クリニック
2	河内うらた
3	真田医院
4	新村病院
5	白峰診療所
6	内科歯科クリニ
7	外科胃腸科ク
8	吉野谷診療所
9	安原医院
10	まもと内科
11	公立つるぎ病院
随時	山ろく・鶴来訪問 看護ステーション
居宅介護事業所	

生活期の情報・文脈情報共有

医療情報の共有

(4) 東海北陸厚生局 7月定例報告書

在宅連携医療機関カンファレンス

合計診療患者数		25年	26年
		371	302
死亡患者数		33	63
(1)うち医療機関以外の死亡者数		23	49
ア うち自宅での死亡者数			22
イ うち自宅以外での死亡者数		5	27
(2)うち医療機関での死亡者数		10	14
ア うち在宅医療機関での死亡者数		3	6
イ うち在宅医療機関以外での死亡者数		7	8

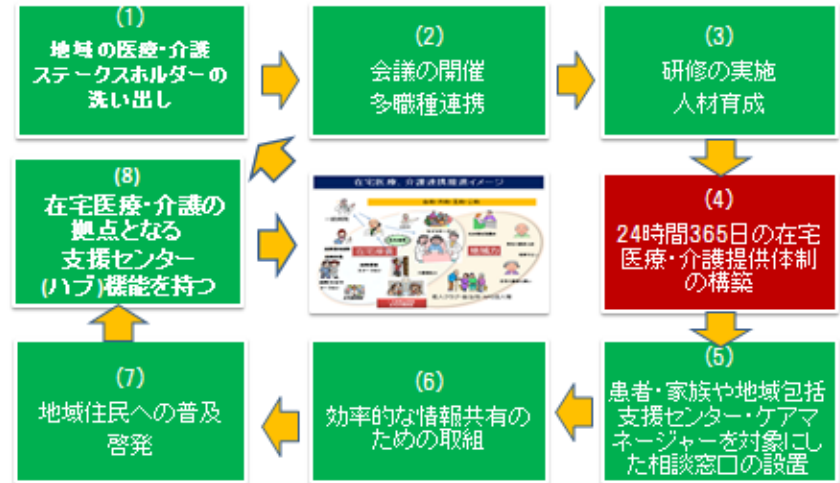
平成25年度 $23 \div 33 = 69.6\%$
 平成26年度は78%

在宅医療の質

※病院に緊急搬送され、望まれない形での在宅医療の中断は避けたい。
 最後まで診ようという医師の覚悟

担当 常勤医師数	10名
連携する医療機関数	8 医療機関
近1年 カンファレンス数	12回

平成26年度 在宅医療・介護連携推進事業
DMM



地域包括ケア病棟

在宅医療・介護連携推進モデル事業

創造エンジン

(4)24時間365日の在宅医療 ・介護提供体制の構築

今後の方向性:「治す医療から」から「治し支える医療」へ

「病院」の積極的な関与のもとに、地域包括ケアシステムを構築
→ 地域包括ケア病棟の創設等

(4) 公立つるぎ病院・ ・ ・ 効率化&制度設計

地域包括ケア病棟

回復期病棟・療養病棟

一般病棟(DPC)

リハ
ビリ

外来

◆病床数 152床

一般床 3階 45床 10対1
5階 54床

地域包括ケア病棟

「病状急変時への対応」や「看取り」等
病院の関与が必要。

26年度 在宅看取り…3件 院長実績

白山石川医療企業団 公立つるぎ病院

院長 杉本尚樹

事業エンジン



在宅療養支援部



創造エンジン



在宅医療・介護連携支援センター

(4) 地域連携医療機関 (白山ろく・鶴来地区)

在宅療養支援診療所・病院



きむら耳鼻咽喉クリニック



河内うらた医院



ただなわ整形外科
クリニック



白峰診療所



吉野谷診療所



いのくち内科医院



せいだクリニック



織田内科クリニック



さなだクリニック



サービス担当者会議



新村病院

後方支援
地域包括病床数
66床



公立つるぎ病院

在宅療養支援部・機能と役割

地域包括ケア私捨夢の構築

在宅療養支援部	事業エンジン	創造エンジン	質の向上(医療・介護サービス)
在宅医療連携室 村山 磯貝	地域連携 垂直連携・医療機関 水平連携・医療機関 ・福祉施設	(1)白山市在宅医療連携協議会 運営委員会・事務局 ①白山ろくサービス連携会議 ②鶴来サービス連携会議 ③松任サービス連携会議 ④美川サービス連携会議	
入退院支援室 村山 川上	入院患者受入 退院支援 訪問診療 在宅医療相談支援	(2)在宅連携医療機関カンファレンス (3)鶴来地区医師会(懇親会世話人)	
居宅介護支援 針道	居宅介護事業 介護・・・33件 支援・・・6件 主任ケアマネ業務	(4)在宅医療プロジェクトX (振返り事例検討会) (5)在宅医療・介護連携 支援センター	
医療・福祉相談 奥谷 石川 筋	社会資源の活用 医療相談 福祉相談	(6)医療介護確保推進法 (7)白山市認知症相談支援検討会	

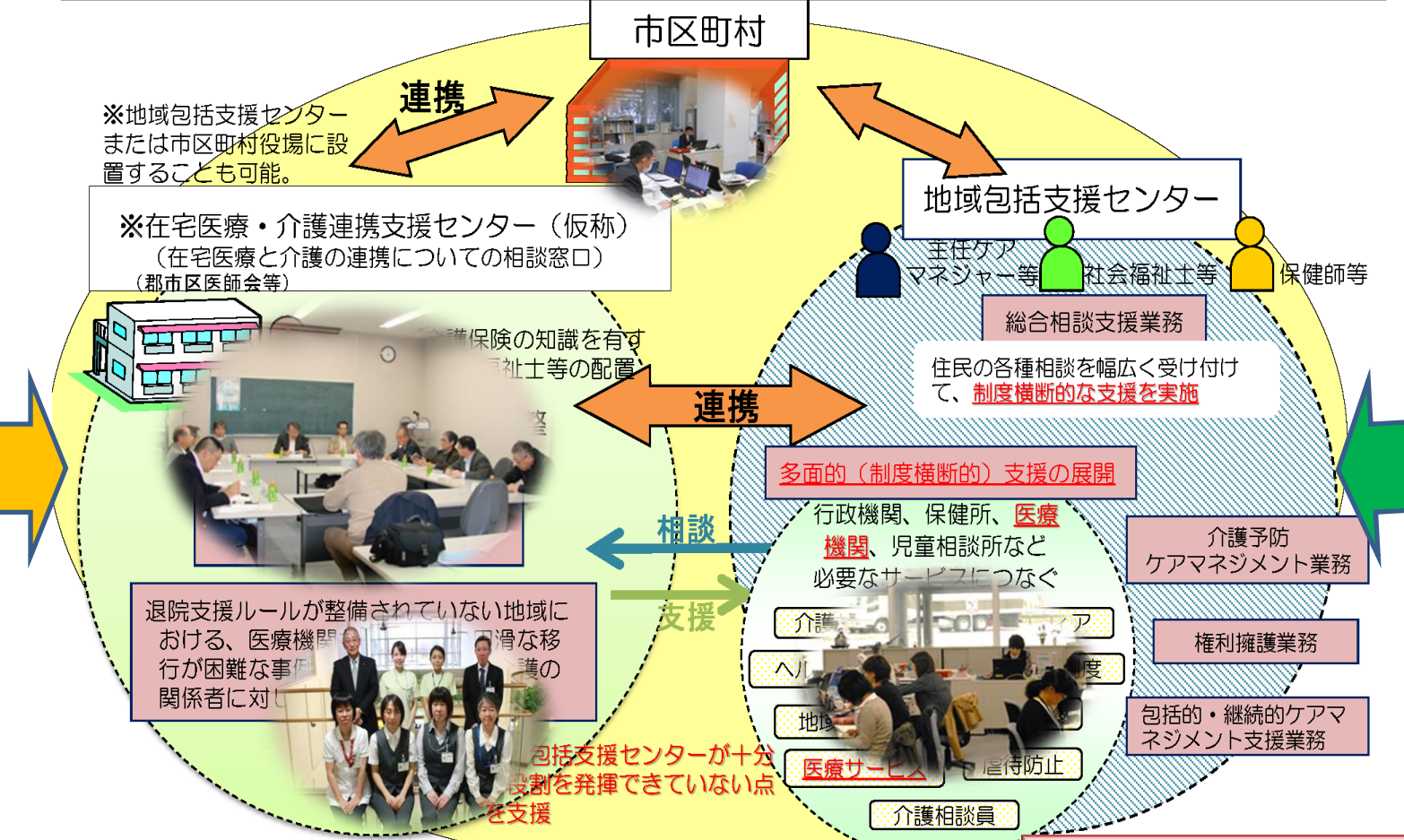
在宅療養支援部 創造エンジン指針

在宅医療・介護連携支援センター(仮称)と地域包括支援センターの役割について

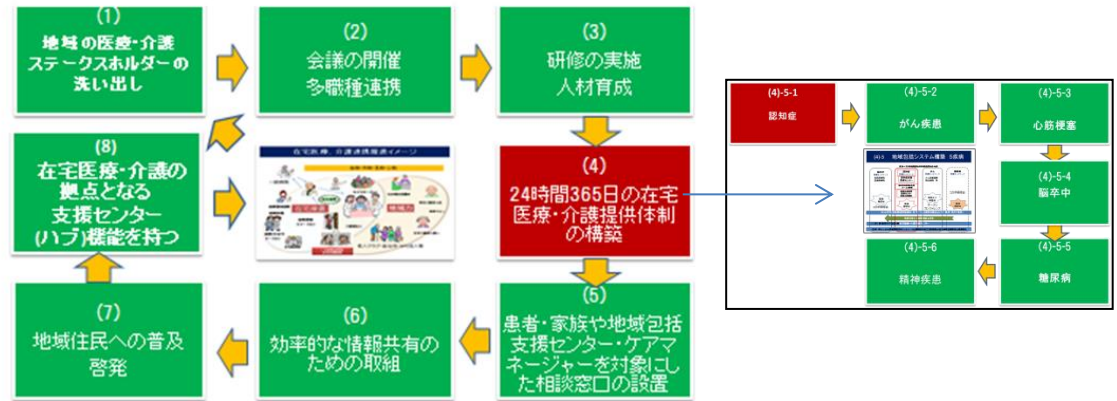
- 在宅医療・介護連携支援センター(仮称)は、
- 介護保険の知識を有する看護師、医療ソーシャルワーカー等を配置し、地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等から相談を受け付ける。(原則、住民からの相談は地域包括支援センターが受け付ける)
 - 地域の在宅医療・介護関係者、地域包括支援センターに対して、在宅医療・介護連携に関する情報提供等を行う。

公立つるぎ病院在宅療養支援部創造エンジン

白山市健康福祉部高齢者支援センター事業



平成26年度 在宅医療・介護連携推進事業
DMM



石川県医療計画

(4)-5-1 認知症施策

白山市の高齢者の動向
(平成25年4月1日現在)

要介護者数 : 4,385人

うち認知症自立度Ⅱ以上

3,027人

高齢者人口の
11.9%



65歳以上の約**15%**は認知症を有している (厚労省)

(2) 在宅医療・介護連携推進事業 in 白山市



医師会



白山市長寿介護課



白山市高齢者支援センター



松任サービス連携



理念
地域包括ケア
私捨夢の構築



美川サービス連携会議



白山ろくサービス連携会議



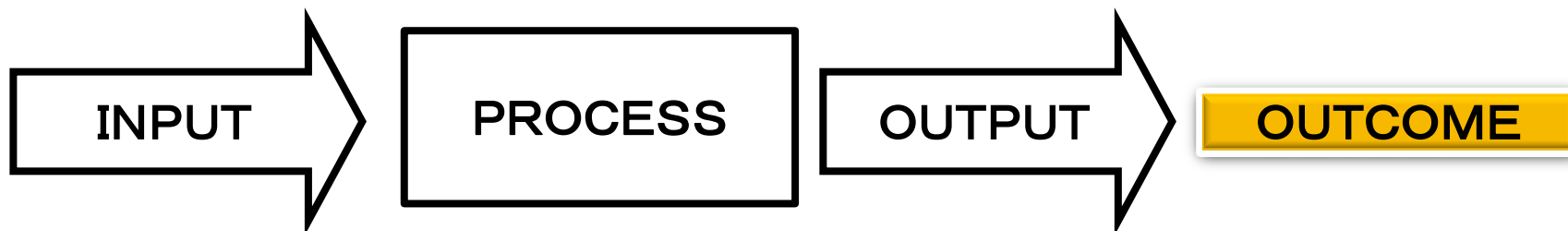
白山市在宅医療連携協議会



横来サービス連携会議

制度設計
患者・家族の思い

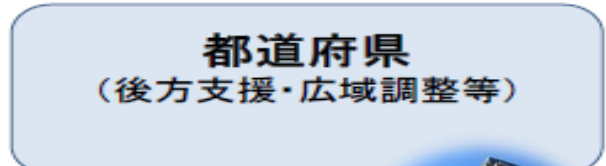
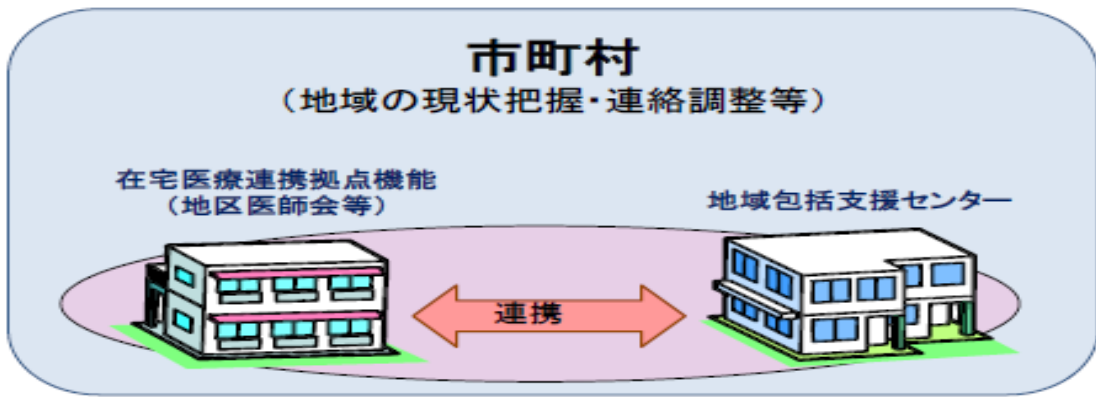
まとめ



在宅医療・介護連携推進事業

平成26年～

石川県健康福祉部



医師会



高齢者支援センター



地域包括ケアシステム OUTCOME

患者・家族様 の 想い

医療・介護連携

生活のなかに医療もある
人生設計があって生活がある
生活計画があって医療計画がある

生活・人生を支える

地域包括ケア

大島伸一先生 講演より

院長先生、今年も一年間、母が大変お世話になりました。誠にありがとうございました。

お蔭で、私達の平穏な普段、主人は定年後、少くの一時間とか二時間畑へ行りの日々です。夜は男の孫がいろいろな事時々母を覗きこんだり責任といたしても、なんと、中で今が一番おびやめて、そんな時はいつも母がお世話になり、いります。とれたりお礼申し上げても足りません。ご厚情に心から感謝申し上げます。

病気になるたら... 医療

介護が必要になったら... 介護

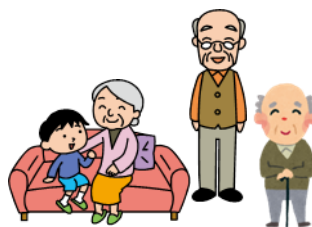
レスパイト入院させていたたりるります。

お顔が浮かんでます。この人生の趣をとり、茶を飲んだりと中学の

*レスパイト入院...当病院定義に基づく



白山市在宅医療連携協議会



白山ろくサービス連携会議



白山市医師会

ご清聴ありがとうございました

鶴来サービス連携会議



松任サービス連携会議

美川サービス連携会議



朝顔につるべ取られてもらい水
千代女